

京都府中小企業技術センター中丹技術支援室  
理化学機器等移転業務 仕様書

1. 業務の名称

京都府中小企業技術センター中丹技術支援室理化学機器等移転業務

2. 業務の概要

京都府中小企業技術センター中丹技術支援室理化学機器等移転業務の建替え移転に伴う研究機器、研究設備、研究器材、研究消耗品、薬品、その他の物品等（以下、「移転物品」という）の解体、梱包、運搬、開梱、据付、組立、ユーティリティ接続作業、調整・性能試験等の機器点検、これらに付帯する作業及び廃棄を実施するものである。

3. 履行場所

(1) 移転元

北部産業技術支援センター・綾部内  
京都府中小企業技術センター中丹技術支援室  
〒623-0011 綾部市青野町西馬場下 38-1

(2) 移転先

北部産業創造センター（仮称）内  
京都府中小企業技術センター中丹技術支援室  
〒623-0011 綾部市青野町西馬場下 38-1

4. 委託期間

契約締結の日から平成30年3月30日まで  
ただし、荷役は、新棟移転計画スケジュールのとおりとする。

5. 付属資料

(1) 移転物品一覧

(2) 移転元・移転先の平面図

(3) 新棟移転計画スケジュール

※付属資料については、京都府中小企業技術センター総務課に入札参加の旨、連絡があった者に対してのみ、(Eメールにて) 配布する。

6. 業務内容

(1) 移転物品及び廃棄物品

移転及び廃棄する物品は、別紙に示す移転物品一覧とするが、移転物品一覧と現品が一

致しないとき、移転物品一覧に誤謬もしくは脱漏があるとき、または予期することができない状態が発見されたときは、受託者はその旨を速やかに連絡し、委託者の指示を受けるものとする。

## (2) 移転物品の点検等

移転物品の点検等については、次のランク別とし、機器別のランクについては移転物品一覧を参照すること。機器の点検は、移転後速やかに業務を開始できる状態にすることを目的とし、移転前作業および移転後作業の実施を原則とする。点検内容は、移転時における各メーカーの推奨内容により実施すること。

### ア. ランク A

移転前、移転後で各機器のメーカーまたはメーカー指定業者の専門技術者による動作確認点検を行い、移転前後で同等以上の分析データが得られていることを提示すること。点検内容は各メーカーが推奨する内容とする。また、同等以上のデータが得られていない場合は、同等以上のデータを得られるまでメンテナンスを実施し、できるだけ速やかに業務復帰が行えるようにすること。

これら現状復帰に要する経費については、受託者の負担とする。ただし不具合の原因が、環境の変化に起因する、あるいは部品の経年劣化に起因すると判断される場合はこの限りではない。

### イ. ランク B

移転前、移転後に専門技術者による動作確認を行うこと。その内容について、移転物品一覧で指示がある場合は、その指示に従うこと。また、委託者が移転前後の確認データを要すると認めた場合は、作業報告書を提出すること。

### ウ. ランク C

上記ア、イに含まれない装置、物品を指すが、精密機器も含まれるため、梱包し、振動の影響がないよう運搬、開梱、設置すること。

## (3) 工程

委託者と協議のうえ、受託者にて作業工程を計画し、委託者の了承を得ること。業務の停止期間はできるだけ短くなるよう配慮し、効率的な作業工程となるよう調整すること。

## (4) 養生

建物等の保護のために養生を実施すること。また、受託者が作業を実施する際にできた損傷については、受託者の負担において補修等を行い、現状に復すること。

## (5) 設置場所の確認

委託者が提示する移転物品一覧に示す物品は、移設先物品設置指示図に示す箇所に設置するものとする。委託者と移転物品の搬送準備、搬送手順、設置場所およびユーティリティに関する十分な打ち合わせを行い、移転物品搬入後の迅速な立上げを図ること。また、搬入室内設備およびユーティリティ設備等に不適合のある場合は、双方協議のうえ、図面

またはユーティリティ設備の変更を行うものとする。

#### (6) 作業日および作業時間

作業は、原則として委託者の勤務時間内（平日の午前9時00分から午後5時00分まで）に行うこととするが、特別な事情のある場合はこの限りではない。この場合、受託者は、事前に委託者の承認を得て作業を行うものとする。

#### (7) 移転作業説明会

受託者は、委託者が指定する日時に、委託者に対して移転準備に関する詳細と留意事項を明示し、説明すること。

#### (8) 梱包

ア. 移転物品の梱包は、原則として、受託者が行うものとする（エに掲げるものを除く）。

イ. 受託者は本業務が円滑に実施されるよう、色別の行き先ラベルを準備すること。

ウ. 移転物品のラベリングは、原則として、委託者が行うものとする。

エ. 移転物品一覧に付帯する移転物品（書類、ガラス器具、冷凍および冷蔵品、試薬類および劇薬物等の危険物）の梱包は、委託者が行うこととする。ただし梱包資材の準備は、受託者で行うものとする。

オ. 精密機器の梱包にあたっては帯電防止の気泡緩衝材を準備し、作業を行うこと。

#### (9) 梱包資材等の配布および回収

ア. 受託者は、移転作業計画に基づき、梱包資材配達予定表を作成し、委託者の承認を得ること。

イ. 委託者の梱包に関わる部分については、受託者は原則として搬送日の10日前までに梱包資材を配布すること。

ウ. 受託者は、(9)イに関わらず、委託者から要求があったときは、梱包資材を要求のあった都度、速やかに配布すること。

エ. 開梱した梱包資材および残余資材は、速やかに回収し、受託者の負担において適切に処理すること。

#### (10) 移転物品の搬出入および搬送

移転物品の搬送にあたっては、エアサスペンション付きの車両等を使用し、搬送中の振動が最小限となるよう配慮すること。また、指定する出入り口から、搬出・搬入を行うこと。重量機器については、クレーン等により搬出・搬入を行うこと。上下階の移動は指定した階段を使用すること。

#### (11) 作業実施上の特記事項

##### ア. 精密機器、実験設備等

受託者は機器、設備等については、分解、解体、梱包、運搬、開梱および据付組立を行うこと。また、移転後に点検等を必要とする機器、設備については、上記6(2)に示したランクに従い、次のとおり行うこと。

(ア)機器の清掃、取り外しを行うこと。点検等を必要とする機器については、機器の取り外

しに先立って委託者の立会いのもと、性能試験を行い、移設前性能報告書を作成し、提出すること。

(イ)運搬に関しては、機器の保護のために必要な梱包、揺れ止めの固定等を行うこと。

(ウ)委託者の指定する場所に搬送し、指定する位置に設置、据え付けること。

必要に応じて、水平出し、アンカー固定を行うこと。

(エ)点検等を必要とする機器については、機器の設置後、委託者の立会いのもと、性能試験を行い、移設前性能報告書と照合のうえ、引き渡すこと。

(オ)上記(ア)から(エ)の作業中、点検等を必要とする機器については、製造メーカーまたはメーカー指定業者の専門技術者が行うこと。特に必要な機器については、委託者と十分に協議し、その指示に従うこと。

#### イ. 機器等の接続等

受託者は、電気、特殊ガス、給排水等の付帯工事については、機器等の設置に伴う、二次側以降の断配線ならびに断配管等の接続を行う。配線、配管等の取り外しおよび取り付けのほか、試運転および調整を要する機器については、取り外し前および取り付け後に、(11)アによる調整および性能確認まで実施すること。

#### ウ. 取り外しの必要な機器への付帯設備工事

移転物品に接続している電気、給排水、給排気およびガス等の撤去工事は、次のとおり行うこと。また、停電、断水および機器の使用停止等、施設の業務に支障をきたすと思われる作業については、作業手順、方法および実施日時等について事前に委託者と打ち合わせのうえ、移転作業計画書を提出し、承認を得たうえで実施すること。

#### (ア)電気設備工事

a. 機器または実験台から近傍の開閉器の二次側からケーブルを取り外し後、ケーブルを引き抜くこと。

b. ケーブル以外の配線の場合は、機器または実験台の端子から切断する。

また、撤去後の既存配線の末端は、適切な措置をすること。

(イ)給排水、ガス等の切断および撤去工事は、機器・実験台・流し台の接続管部分から切断する。また撤去後の既存管の末端はプラグ止めとする。

(ウ)上記以外の配管等あるいは別の合理的な方法がある場合は、委託者と十分に協議し、その指示に従うこと。

#### エ. 取り付けの必要な機器への付帯設備工事

受託者が行う取り付けの必要な機器の付帯設備工事は、次のとおりとする。

(ア)機器等への付帯設備の接続工事は、(11)イと同様に行うこと。

(イ)機器と電気系統の二次側接続については、コンセントプラグは委託者の負担で、受託者が接続すること。

#### (ウ)電気設備工事

関連法令遵守のうえ、機器・実験台から近傍の電気設備（ブレーカー、スイッチボックス

ス、コンセント等)に接続工事を行うこと。

(エ)給水設備工事

- a. 機器等は、近傍に施工された給水バルブから配管する。
- b. 材料および配管方法の選定は、機器・施工場所の特性にあわせた材質・形状にすること。

(オ)排水設備工事

- a. 機器・実験台・流し台は、近傍に施工された排水口へ配管する。
- b. 材料および配管方法の選定は、機器・施工場所の特性にあわせた材質・形状にすること。

(カ)特殊ガス工事

- a. 機器等は、近傍に施工された特殊ガス接続口へ配管する。
- b. 材料および配管方法の選定は、機器・施工場所の特性にあわせた材質・形状にすること。
- c. 特殊ガス（ヘリウム、窒素、純空気、水素およびアルゴン等）配管は、委託者において、それぞれのガスに置換し、受託者に引き継ぐこととする。

(キ)排気設備工事

- a. 機器等は、近傍に施工されたダクト接続口へ配管する。
- b. 材料および配管方法の選定は、機器・施工場所の特性にあわせた材質・形状にすること。
- c. ダクトのサポート方法は、委託者と十分に協議し、その指示に従うこと。

オ. 薬品・ガスボンベ等

薬品類および高圧ガスボンベ等は、法令の定めるところにより、その梱包、運搬を適切に行うこと。薬品類は、原則として、委託者が梱包、受託者が搬送し、開梱、配架は委託者が行う。

(ア)劇物、毒物、危険物等の梱包は、それぞれのものの特性に応じた梱包資材を、受託者が準備する。

(イ)反応性のあるものは、委託者が区分梱包し、内容物を受託者に申し出るなど、十分に協議したうえで、運搬を行うこと。

(ウ)輸送車両は、すべて専用車とし、ほかの物品と混載しないこと。

カ. 冷蔵庫、フリーザーおよび保存試料

冷蔵庫、フリーザーおよびこれらに保存されている試料等の運搬は、下記のとおり保冷対策を講じ、試料等に損傷がないよう十分に配慮すること。また、運搬手順、方法等について、事前に委託者と協議し、承認を得ること。

(ア)冷蔵庫およびフリーザーの運搬の前後に、これらに保存されている試料等の移し替えを行う際には、各試料の適正温度状態を確保するよう留意すること。

(イ)冷蔵庫およびフリーザーを運搬据付後は、速やかに適正温度に戻すよう努めること。

(ウ)保存試料の運搬にあたっては、特殊車両を準備し、適切な温度での輸送を行うこと。

キ. 実験器材、実験消耗品

(ア)移転物品に付帯する実験器材、実験消耗品については、移転物品に含まれることとする。

(イ)実験器材、実験消耗品は、原則として、委託者が梱包、受託者が搬送し、開梱、配架は

委託者が行う。

#### ク. 梱包資材等

(ア) 移転搬送に必要なラベル、ダンボール箱、クッション材、エアキャップ、布テープ、クラフトテープ、養生テープ等の梱包材料については、委託者が指定する日までに受託者が準備するものとする。また、受託者は、委託者の要求する搬出用資材及び、梱包資材等を委託者の指示する場所、指定する時期までに供給すること。

(イ) 受託者は、作業完了後、速やかに養生の撤去及び養生設置箇所の清掃を行うものとする。ただし、委託者の指示する場合は、当該指示によるものとする。

(ウ) 移転後、不用になった梱包資材等については、委託者に確認のうえ、受託者が速やかに回収・処分すること。

#### (12) 作業実施上の留意事項

移転作業の実施にあたっては、次の事項に留意すること。

ア. 移転物品は、それぞれの特性・規格・用途に応じた最も適した方法で、梱包・運搬等を行い、作業中の損傷・破損等の事故が無いよう十分に配慮すること。

イ. 関係法令の定める資格を必要とする作業については、有資格者を確保し実施することとし、関係法令を遵守し安全作業に心がけること。

ウ. 輸送作業中に予想される降雨等の気象の変化に対して、十分な対策を講じること。

#### エ. 安全作業の励行

受託者は、作業の実施にあたっては、必要な関係法令を遵守し、来訪者、職員、その他の関係者の安全確保に万全を期すとともに、安全作業に努め、事故の根絶を期さなければならない。作業の実施にあたっては、事故の防止と安全確保のため、必要に応じて次のとおり、対策を講じること。

(ア) 搬出入時、積み卸し作業が行われる場所で安全を確保する必要があるときは、警備員を配置し誘導作業を行うこと。

(イ) 各種作業に従事する者に対し、安全教育を行い、安全管理責任者を定め、安全作業の励行に努めること。

(ウ) 緊急時に備え早急に処置がとれるよう緊急連絡体制表を提出すること。

#### オ. 補償

本作業中に下記の人身事故、物損事故、搬送物品の破損、遺失等の事故が発生した場合、その損害の補償等については、受託者の責任とする。

(ア) 来訪者、職員、その他関係者および受託者の従業員が関係する人身事故

(イ) 作業車両等による全ての事故

(ウ) 敷地内の縁石、植栽、建物、構造物とそれに付随する設備に対する事故

(エ) 移設物品に対する事故

(オ) その他の管理責任に基づく事故

#### カ. 機密の保持

受託者（再委託業者およびすべての従業員を含む）は、本件作業の実施にあたり、業務遂行上知り得た事項について、第三者に漏らしてはならない。

#### キ. 遵守事項

受託者は、次に定められた各事項を遵守すること。

(ア)作業の従事者名簿を提出すること。

(イ)作業員には、服装の統一、名札・腕章の着用などにより、本件作業の従事者であることを明示すること。

(ウ)作業に直接関係のない場所には、立ち入らないこと。

(エ)指定場所以外での喫煙は禁止し、防災に留意すること。

(オ)火気、危険物の持ち込み等について、事前に委託者の承認を得ること。

#### ク. 他業者等との調整

受注者は、一般物品移転業者や購入物品等の納入、設置等が円滑に行われるよう、発注者及び関係納入業者と搬入日程等の連絡の連絡を密にし、調整を十分に行うものとする。

なお、養生については関係納入業者に対して無償で使用させること。

#### (13) 保険

受託者は、保険に加入し業務を請け負った機器および財物を破損、汚損または紛失した場合は、受託者賠償責任等により、損害賠償を保証すること。また、建物に対し損害を与えた場合も、請負賠償責任保険等により損害賠償を保証すること。

#### (14) 廃棄物品について

別紙の移転物品一覧の廃棄対象物品については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）及び関係法令に基づいて処理すること。請負を行う者は、産業廃棄物収集運搬許可証及び産業廃棄物処分業許可証を有すること。

廃棄物の処理を終えた後、業務処理報告書を作成すること。ただし、同報告書は収集運搬業務についてはマニフェスト B2 票で、処分についてはマニフェスト D 票で代えることができることとする。

### 7. 事前報告等

#### (1) 移転作業計画書

ア. 本仕様書および移転物品一覧に基づき、移転作業計画書を作成のうえ、別に指定する日までに委託者に提出し、承認を得ること。

イ. 移転作業計画書は、作業工程、作業日程、作業予定時間、作業内容、搬出入ルート、作業体制、梱包要領、建物養生要領、ラベリング要領、移転機器の事故時の補償等に関する内容を明記すること。

#### (2) 委託業者一覧表

業務の一部を第三者に委託する場合には、委託業者名、所在地、委託業務内容等を記載した「委託業者一覧表」を提出すること。なお、委託業者の選定にあたって、許認可を必

要とする業務については、資格を有する事業者を選定すること。

### (3) 従事者名簿

委託業務を含め、本委託業務に従事する従事者について、「従事者名簿」を作成し、提出すること。なお、作業内容により、運転免許、クレーン免許等有資格者が必要な場合には、必ず有資格者を従事者とする。

### (4) 作業報告等

ア. 各作業の開始前に、当日の作業に従事する人員、車両数、作業手順、作業計画からの変更事項の有無について、委託者に報告すること。

イ. 作業当日の作業実施状況と終了時の作業報告を委託者に行うこと。また、必要に応じて資料を提出すること。

ウ. 作業の内容、物品等に不測の事態または事故が発生した場合は、速やかにその内容を委託者に報告し、指示を受け、解決を図り、その経過を報告すること。

## 8. 許認可等の手続き

移転作業を実施するにあたり、官公庁および近隣住民等に対する許認可の申請事務等の必要な手続きは、受託者の負担により行うものとする。ただし、受託者が代行できないものは除く。

## 9. 付帯事項

(1) 本業務を行うにあたっては、委託者と密接な連携をとって、円滑に実施すること。

実施にあたり、疑義が生じた場合は、両者協議のうえ業務にあたることとする。

(2) 業務内容が仕様書に適合しないとして、委託者が業務内容の改善を命じた場合にかかる経費はすべて受託者の負担とする。

(3) 精密検査機器類について、移転前に行っている耐震対策は、地震による落下、転倒などがないよう移転後も耐震対策を講じること。耐震対策については、据付実験台等に損傷のないよう委託者と協議のうえ、実施すること。

(4) 仕様書の記載に疑義が生じたとき、記載のない事項が発生したときについては、必要に応じてその都度協議すること。

## 10. 検査及び検収

(1) 全移転物品の運搬が完了したときは、委託者が受託者の立会のうえで検査を行うものとする。

(2) 検査の結果、不具合が生じた場合は、受託者は誠意を持って改善し、改め再検査を行うものとする。

(3) 検査の合格をもって業務の履行を確認するものとし、受託者からの完了報告により検収を行うものとする。



## 11. 完了報告

移転物品の完了報告は、以下の書類の提出によるものとする。

- (1) 業務完了報告書
- (2) 業務実施報告書（点検報告書、実施状況写真等）

受託者は、必要に応じて作業の実施前、実施中および完了後の各状況を写真撮影し、業務実施報告書に添付すること。手直し指示があった場合も同様とする。なお、完了後に直接確認ができなくなるものについては、特に実施状況を確認できるよう写真撮影を行い、業務実施報告書に添付し提出するものとする。

- (3) その他委託者が必要と認め提出を求めた書類

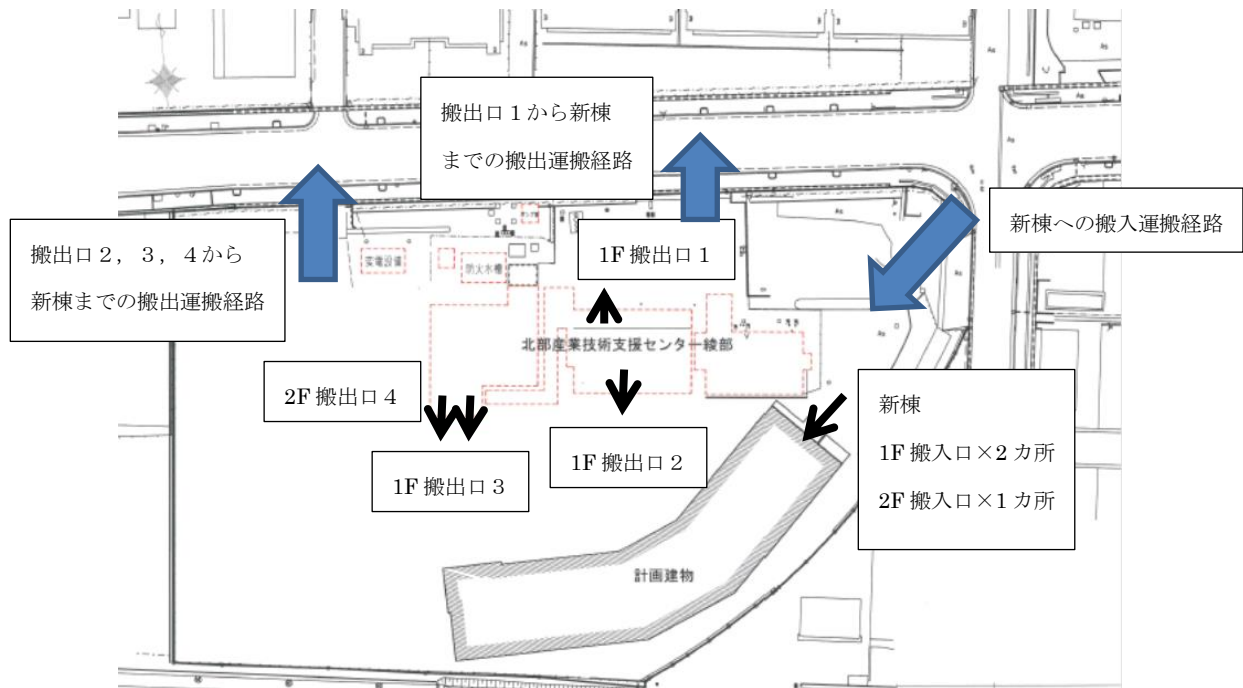
## 新棟移転計画スケジュール

### 1. 移転業務時期

契約日以降～1月下旬	移転業務打ち合わせ
2月上旬～下旬	既存建物内にて移転物品の確認・解体・梱包等
2月下旬～3月上旬	既存建物からの搬出、新棟への搬入・開梱・据付・組立まで
3月15日以降	ユーティリティ接続・調整・性能試験等の機器点検
3月下旬	完了検査

### 2. 移転建物配置図及び搬出・搬入経路

事前調査の上、移転計画を立案のこと。








(別紙) 移設物品一覧

移設機器リスト






<精密測定検査用>

機 器 名	メーカー名・機種名	機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真	
A-1	CNC三次元測定機	Crysta-Apex C9166	164×269×273	2,868	1F精密測定室	A (校正作業除く)	
		PC(CNC三次元測定機用)	75×80×165	60			
		エアドライヤ	20×40×50	15			
A-2	表面粗さ・輪郭形状測定機	SV-C4000 CNC	100×76×195	350	1F精密測定室	A (校正作業除く)	
		エアドライヤ	19×38×47	10			
		PC(表面粗さ測定機用)	65×70×168	50			
A-3	真円度・円筒形状測定機	RA-H5100 CNC	95×67×190	670	1F精密測定室	A (校正作業除く)	
		エアドライヤ	19×38×47	10			
		PC(真円度測定機用)	65×70×168	50			
A-4	定盤	No.517-409	100×100×77	550	1F精密測定室	C	
		No.517-207CR					
A-5	チェックマスタ	HMC-1000H	110×10×10	20	1F精密測定室	C	
A-6	ハイトマスタ	HME-600DM	80×10×10	10	1F精密測定室	C	
A-7	ハイトゲージ	HDM-100A	130×30×10	10	1F精密測定室	C	
A-8		HD-30A	50×20×10	5			
A-9		HS-30	55×20×10	5			
A-10	マイクロメータ	MDC-25MJ 2本	110×65×35	50	1F精密測定室	C	
A-11		M310-25 1本					
A-12		M320-25AA 1本					
A-13		OMC-150MJ 1本					
A-14		OMC-300MJ 1本					
A-15		OMC-400 1本					
A-16		OMC-500 1本					
A-17		OMC-600 1本					
A-18		OMC-700 1本					
A-19		OMC-800 1本					
A-20		MS-R 1個					
A-21	内測マイクロメータ	ホールテストD 1セット	60×40×40	10	1F精密測定室	C	
A-22		ホールテストE 1セット					
A-23		HT-12ST 1セット					
A-24		HT-20RST 1セット					
A-25		HT-50RST 1セット					
A-26		HT-100RST 1セット					
A-27		HT-200RST 1セット					
A-28		IMJ-1300 1セット					
A-29		CI-600C 1個					
A-30	セラミックブロックセット	BM3-112-K	30×20×5	3	1F精密測定室	C	
A-31		コードNo.516-601					
A-32	ゲージブロックセット	No.613802-013(125mm)	50×25×30	10	1F精密測定室	C	
A-33		No.613803-013(150mm)					
A-34		No.613804-013(175mm)					
A-35		No.613682-013(200mm)					
A-36		No.613805-013(250mm)					
A-37		No.613683-013(300mm)					

機器名	メーカー名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
A-38 携帯用表面粗さ計	ミツトヨ	SJ-301/0.75mN	20×20×10	3	1F精密測定室	C	
A-39	リングゲージ	No.177-146(φ50mm)	30×30×30	20	1F精密測定室	C	
A-40		No.177-292(φ60mm)					
A-41		No.177-147(φ70mm)					
A-42		No.177-294(φ80mm)					
A-43		No.177-148(φ90mm)					
A-44		No.177-296(φ100mm)					
A-45		No.177-298(φ125mm)					
A-46		No.177-304(φ200mm)					
A-47		No.177-306(φ225mm)					
A-48		No.177-308(φ250mm)					
A-49		No.177-310(φ275mm)					
A-50	No.177-312(φ300mm)						
A-51 騒音計	リオン	NL-22	30×40×10	20	1F精密測定室	C	
A-52 振動計	リオン	VM-82(ピックアップ:PV-57A)	30×20×10	1	1F精密測定室	C	
A-53 振動レベル計	リオン	VM-53A(ピックアップ:PV-83C)	45×40×10	5	1F精密測定室	C	


<機械加工用>

機器名	メーカー名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
B-1 旋盤	テクノワシノ	LEO-80A	229×111×132	2,000	1F機械加工エリア	B	
B-2 フライス盤	牧野フライス製作所	KGJP-55	220×170×215	1,490	1F機械加工エリア	B	
B-3 小型旋盤	エグロ	EB-10	120×60×110	650	1F機械加工エリア	B	
B-4 3次元切削モデリングシステム	モデリングアール	MDX-5000R	130×125×200	810	1F機械加工エリア	B	
		コンプレサー	53×70×88	122			
		エアタンク	50×50×122	30			
		PC	60×60×130	20			
B-5 タッピングボール盤	キラ・コーポレーション	KRT-340R	47×54×144	80	1F機械加工エリア	B	
B-6 手動折り曲げ機	盛光	LD-414	175×100×160	400	1F機械加工エリア	B	
B-7 鏡面ショット研磨機	東洋研磨材工業	SMAP II 型	110×90×172	110	1F機械加工エリア	B	







機器名	メーカー名・機種名	機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真		
B-8 電気溶接機	松下溶接システム	デジタル溶接機	25×70×56	30	1F機械加工エリア	B		
		溶接電源装置	39×54×60	45				
		炭酸ガスポンプ	35×35×140	100				
		溶接ヒューム回収装置	57×75×121	100				
B-9								
B-10	ベルト研磨機	淀川電機製作所	FS-2N	45×70×90	80	1F機械加工エリア	B	
B-11	両頭グラインダ	淀川電機製作所	FG-205T	60×45×105	80	1F機械加工エリア	B	
B-12	高速切断機	昭和機械工業	SK-1	45×90×90	60	1F機械加工エリア	B	
B-13	帯ノコ盤	ワイエス	VZ-300	85×60×156	200	1F機械加工エリア	B	

<材料試験用>

機器名	メーカー名・機種名	機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真		
C-1 万能材料試験機 (250kN)	島津製作所	AG-250kNIS MO	116×60×240	900	1F機械分析・材料試験室	A		
		PC	64×67×145	60				
		チャック	90×60×20	30				
C-2 万能材料試験機 (5kN)	島津製作所	AG-5kNIS	142×55×227	200	1F機械分析・材料試験室	A		
		PC	64×67×145	60				
C-3	共和電業	LU-100KE	20×15×45	5	1F機械分析・材料試験室	C		
C-4		LU-1TE						
C-5		LU-10TE						
C-6		AS-10HB						
C-7		AS-100HA						
C-8		PG-10KU						
C-9		PG-100KU						
C-10		DT20D						
C-11	DPM-712B							
C-12 振動試験機 (16kN)	エミック	F-1600BDH/LA16AW	250×125×110	3,800	1F機械分析・材料試験室	B		
		制御装置	70×110×168	500				
		治具移動機構	120×160×120	300				
		コンプレッサ	50×30×70	15				
		プロア	100×80×170	220				
C-13	ロックウェル硬さ試験機	ミットヨ	ARK-600	40×60×50	50	1F機械分析・材料試験室	A	
C-14	マイクロピッカース硬さ試験機	フューチャアテック	FM-700	40×60×50	50	1F機械分析・材料試験室	A	
C-15	簡易携帯硬さ試験機	プロセク	Dエコーチップ2	30×30×10	5	1F機械分析・材料試験室	C	

機器名	メーカー名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
C-16	反発式ポータブル硬さ試験機	ミットヨ HARDMATIC HH-411	35×25×10	5	1F機械分析・材料試験室	C	
C-17	マイクロフォーカスX線透視装置	島津製作所 SMX3000 micro	170×190×155	1,800	1F機械分析・材料試験室	A	
C-18	超音波探傷器	GEインスペクション・テクノロジーズ USN60	45×35×25	10	1F機械分析・材料試験室	C	
C-19	電気マuffle炉	アドバンテック東洋 FUM332PA	50×80×85	130	1F機械分析・材料試験室	B	

<電気試験用>

機器名	メーカー名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真	
D-1	シンクロスコープ (DL9040)	横河電機 DL9040	40×20×20	5	1F電波試験室	C		
D-2	データレコーダー	ティアック LX-10	20×20×5	1	1F電波試験室	C		
D-3	FFTアナライザー	共和電業 EDX-2000A	45×30×60	10	1F電波試験室	C		
D-4	赤外線サーモグラフィ	日本アビオニクス TVS-500	40×40×30		1F電波試験室	C		
D-5	ユニバーサルカウンタ	岩通計測 SC-7206	25×35×15	3	1F電波試験室	C		
D-6	EMC測定システム	シャフナー	GTEM750	400×200×200	390	1F電波試験室	B	
			PC・プリンタ	64×67×145	50			
			スペクトルアナライザ	40×50×20	20			
			アンプ	50×50×10	10			
			SG	50×50×10	10			
			パワーメータ	20×40×10	5			
			付属品	50×50×20	10			
			静電気試験機	50×40×20	10			
		GTEM試験電源	30×30×30(2個)	50				

<顕微鏡及び試料作製装置>

機器名	メーカー名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
E-1	走査電子顕微鏡 (観察+元素分析)	日本電子 JSM-6390LA	240×140×150	550	2F機器分析室	A	
E-2	レーザー顕微鏡	オリンパス LEXT OLS3100	140×71×125	100	1F精密測定室	A	
E-3	デジタルマイクロSCOPE	ハイロックス KH7700	150×75×130	70	1F精密測定室	B	



	機 器 名	メーカ名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
E-4	金属顕微鏡	ニコン	TME200BD	40×60×50	50	1F機器分析・材料試験室	C	
E-5	実体顕微鏡	ニコン	SMZ1000	40×60×50	50	1F機器分析・材料試験室	C	
E-6	蛍光顕微鏡	オリンパス	BX51	40×60×50	20	2F化学分析室	B	
			PC	30×30×30	10			
E-7	金相試料作製装置	丸本ストルアス	切断機	80×64×46	123	1F機器分析・材料試験室	B	
			試料埋込機	42×58×42	38			
			研磨機	43×72×33	33			
			コンプレッサー	60×54×82	40			
			流し台	60×55×80	20			

<分析用>


	機 器 名	メーカ名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
F-1	蛍光X線分析装置付属品	島津製作所	ブリケットマシン	50×50×121	240	2F機器分析室	B	
F-2	X線回折装置Ⅱ	島津製作所	XRD-6100	90×75×160	500	2F機器分析室	A	
			PC	60×80×170	30			
			冷却装置	60×42×112	120			
F-3	フーリエ変換赤外分光光度計(赤外顕微鏡付)	島津製作所	IRPrestige-21 AIM-8800	180×75×140	200	2F機器分析室	A	
			PC	80×70×135	20			
F-4	紫外・可視分光光度計	日本分光	V-630	120×75×150	50	2F化学分析室	B	
F-5	分光色差計	日本電色工業	NF-333	35×45×10	5	2F化学分析室	C	
F-6	分光蛍光光度計	日立ハイテクノロ	F-7000	230×75×110	100	2F化学分析室	B	
F-7	ガスクロマトグラフ質量分析装置	島津製作所	GCMS-QP2010Plus	220×90×170	200	2F化学分析室	B	
			PC	90×70×150	50			
F-8	液体クロマトグラフ	島津製作所	Prominence	280×90×140	250	2F化学分析室	B	
F-9	アミノ酸分析装置	日立ハイテクノロジー	L-8900	140×70×145	200	2F化学分析室	B	
F-10	示差走査熱量測定装置	島津製作所	DSC-60A	180×75×125	100	2F機器分析室	B	
			PC	60×65×126	20			

機器名	メーカー名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
F-11 細管式レオメータ	島津製作所	CFT-500D	130×70×155	260	2F化学分析室	A	
		PC	150×80×110	100			
F-12 レーザ回折式粒度分布測定装置	島津製作所	SALD-2200	180×75×125	200	2F化学分析室	B	
		PC	60×70×140	30			
F-13 微量水分計	ダイアインスト ルメンツ	CA-21	30×55×30	10	2F化学分析室	C	
F-14 脈波計	ACI Medical	APG-1000	60×60×100	20	2F化学分析室	C	
F-15 有機合成用ドラフトチャンパー	ヤマト科学	RFG-150SZ	150×75×230	200	2F前処理室	B	

<表面処理・環境試験用>

機器名	メーカー名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
G-1 蛍光X線膜厚計	エスアイ・イ・ナテクノ ロジー	SFT9400	180×90×163	200	2F機器分析室	B	
		PC	40×40×30	60			
G-2 電磁・渦電流膜厚計	ケット科学研究所	LZ-200J	10×20×5	1	2F機器分析室	C	
G-3 接触角測定装置	FTA	FTA-125	40×20×40	50	2F化学分析室	B	
		PC	80×70×145	30			
G-4 温湿度サイクル試験装置 (800L)	エスベック	PL-4K/P計装	170×190×155	540	1F機器分析・材料 試験室	B	
		給水装置	55×33×44	21			
G-5 小型高温チャンパー	エスベック	ST-120B1	50×40×20	30	1F機器分析・材料 試験室	B	
G-6 真空定温乾燥器	ヤマト科学	DP43	120×80×150	190	2F前処理室	B	

<デザイン用>

機器名	メーカー名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
H-1 非接触3次元デジタイザ	コニカミノルタセ ンシング	VIVID9i	120×120×190	100	2F機器分析室	C	



	機 器 名	メーカ名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
H-2	ストロボスコープ	菅原研究所	MS-600	20×20×20	1	2F機器分析室	C	
H-3	デジタルハイスピードカメラ	ナック	MEMORECAM fxK4	20×20×20	1	2F機器分析室	C	
H-4	3Dプリンター（ラピッドプロトタイプ）	Stratasys	dimension Elite	93×95×171	136	2F機器分析室	B	
H-5	機械振動周波数分析システム	共和電業	EDX-200A-1	50×40×20	5	2F機器分析室	C	

<その他>

	機 器 名	メーカ名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
K-1	遠心分離機 一式	解析棟2F TOMY	MX-301	50×40×80	50	2F化学分析室	C	
K-2	電動ビュレット	解析棟2F Metrohm	775DOSIMAT	20×30×50	5	2F前処理室	C	
K-3	電動ビュレット	解析棟2F Metrohm	728	10×20×30	1	2F前処理室	C	
K-4	電子天秤	解析棟2F Shimazu	AUW220D	25×40×35	1	2F前処理室	C	
K-5	電子天秤	解析棟2F Sefi		20×20×10	1	2F前処理室	C	
K-6	PHメーター	解析棟2F HORIBA	F-52	20×20×5	1	2F前処理室	C	
K-7	試料用冷蔵庫	解析棟2F SANYO	LABCOOL	77×83×200	180	2F前処理室	B	
K-8	試薬用冷蔵庫	事務棟 SANYO	LABCOOL	77×83×200	180	1F事務室	B	
K-10	バイオメディカルフリーザ	解析棟2F SANYO	BIOMEDICALFREEZA	85×85×180	180	2F前処理室	B	
K-11	デュアーflasco	解析棟1F		40×40×60	3	2F機器分析室	C	
K-12	赤外線ホットプレート	解析棟2F		30×45×15	10	2F前処理室	C	
K-13	並列ホットプレートスターラー	解析棟2F		52×45×15	20	2F前処理室	C	

	機 器 名	メーカ名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
K-14	クリーンベンチ	解析棟2F		140×80×200	100	2F前処理室	B	
K-15	薬品庫	解析棟2F		100×60×180	30	2F前処理室	C	
K-16	超純水製造装置	解析棟2F		80×80×70	20	2F前処理室	B	
K-17	蒸留水発生装置	解析棟2F		60×50×160	30	2F前処理室	B	
K-18	三次元測定機検証用ゲージ (クオリティマスタ)台車とも	解析棟1F		40×40×50	50	1F精密測定室	C	
K-19	イオンスパッタ装置 (コンプレッサ含む)	解析棟1F		60×70×20	30	2F機器分析室	B	
K-20	定温乾燥機	解析棟2F	OFW-600	75×65×80	30	2F前処理室	B	
K-21	超音波ピペット洗浄器	解析棟2F		100×80×80	20	2F前処理室	C	
K-22	乾燥保管庫	解析棟2F	ASONE	60×80×170	80	2F前処理室	B	
K-23	除湿器	機械棟		40×30×60	10	1F精密測定室	C	
K-24	ハンドジブリフト	機械棟1F		100×200×200	70	1F機械加工エリア	C	
K-25	ハンドパレットトラック	機械棟1F		200×100×100	50	1F機械加工エリア	C	
K-26	メカトロ教育ツール(1)	事務棟2F		7台 50×60×40	20/台	2F研修室	C	
K-27	メカトロ教育ツール(2)	事務棟2F		12台 20×20×20	10/台	2F研修室	C	
K-28	液体窒素発生装置	機械棟1F	Iwatani MP-30	60×65×140	200	2F液体窒素発生室	B	
K-29	窒素ガス発生装置	機械棟1F	Iwatani GN-10A	40×45×85	100	2F液体窒素発生室	B	



	物 品 名	移設元所在・サイズ(W・D・H) mm		数量	机上搭載機器名	ランク	備考
1	作業台	機械棟	1800×600×720	1	マイクロビッカース硬さ試験	C	
2	作業台	機械棟	1800×600×720	1		C	
3	作業台	機械棟	1800×600×720	1	金属顕微鏡、実体顕微鏡	C	
4	作業台	機械棟	1500×750×720	1	小型高温チャンバー、マップ	C	
5	実験台	機械棟	1800×750×800	1	金相試料作製装置	C	
6	作業台	機械棟	1800×750×800	1	EMC用	C	
7	作業台	機械棟	1800×750×720	1	旋盤横	C	
8	作業台	機械棟		1	溶接用	C	
9	作業台	解析棟1F	1800×800×750(コロ付)	1		C	
10	作業台	解析棟1F	1500×750×720	1	デジタルマイクロスコープ	C	
11	作業台	解析棟1F	1800×900×720	1	蛍光X線膜厚計	C	
12	実験台	解析棟1F	1500×750×800	1	イオンスパッター	C	
13	実験台	解析棟1F	1800×750×800	1	蛍光X線分析装置	C	
14	作業台	解析棟1F	1500×750×720	1	ハイドゲージ等	C	
15	作業台	解析棟1F	1800×900×750(コロ付)	1		C	
16	机	解析棟1F	1100×700×700	1		C	
17	実験台	解析棟1F	1800×750×800	1	示差熱走査熱量測定装置、	C	
18	作業台	解析棟1F	1800×800×750	1		C	
19	作業台	解析棟1F	1500×600×700	1		C	
20	作業台	解析棟1F	1800×750×750	1		C	
21	机	解析棟2F	1100×700×700	1		C	
22	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1		C	
23	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1		C	
24	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1		C	
25	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1		C	
26	実験台	解析棟2F	1250×750×800	1		C	
27	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1	粒度分布測定装置	C	
28	作業台	解析棟2F	900×600×720	1		C	
29	作業台	解析棟2F	1500×800×700	1	レオメータ	C	
30	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1	FT-IR	C	
31	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1	紫外・可視分光光度計、接触角測定装置	C	
32	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1	蛍光光度計	C	
33	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1		C	
34	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1	ガスクロマトグラフ質量分析装置	C	
35	実験台	解析棟2F	1800×750×800	1	液体クロマトグラフ	C	
1	棚	機械棟	900×600×1800	1		C	
2	棚	機械棟	900×600×1800	1		C	
3	棚	機械棟	900×600×1800	1		C	
4	棚	機械棟	960×480×1800	1		C	
5	ロッカー	機械棟	900×500×1800	1	振動試験機	C	
6	ロッカー	機械棟	880×400×1100	1	EMC用	C	
7	ロッカー	機械棟	880×400×1100	1	EMC用	C	
8	工具キャビネット	機械棟	750×720×1150	1		C	
9	棚	機械棟	1200×600×2000	1	EMC用	C	
10	棚	機械棟	1200×600×1800	1	旋盤用	C	
11	ロッカー	解析棟2F	1800×400×970	1		C	
12	ロッカー	解析棟2F	1800×400×970	1		C	
13	ロッカー	解析棟1F	1800×400×970	1		C	
14	ロッカー	解析棟1F	1800×400×970	1		C	
15	棚	解析棟1F	1200×600×1800	1		C	
16	棚	解析棟1F	1200×600×1800	1		C	
17	ロッカー	解析棟1F	900×450×1100	1	3Dプリンタ	C	
18	ロッカー	解析棟1F	900×450×1100	1	3Dプリンタ	C	
採 番 なし	イス	解析棟2F		11		C	
		解析棟1F		11		C	
		機械棟		6		C	

採番なし	物 品 名	移設元所在・サイズ(W・D・H) mm		数量	机上搭載機器名	ランク	備考
	ワゴン	解析棟2F		2		C	
		解析棟1F		3		C	
		機械棟		8		C	
	デスクキャビネット	解析棟2F		4		C	
		解析棟1F		2		C	
		機械棟		2		C	
	ホワイトボード	解析棟2F		1		C	
		解析棟1F		1		C	
		機械棟		1		C	
パーテーション	解析棟2F		—		C		
	解析棟1F		1		C		
	機械棟		5		C		

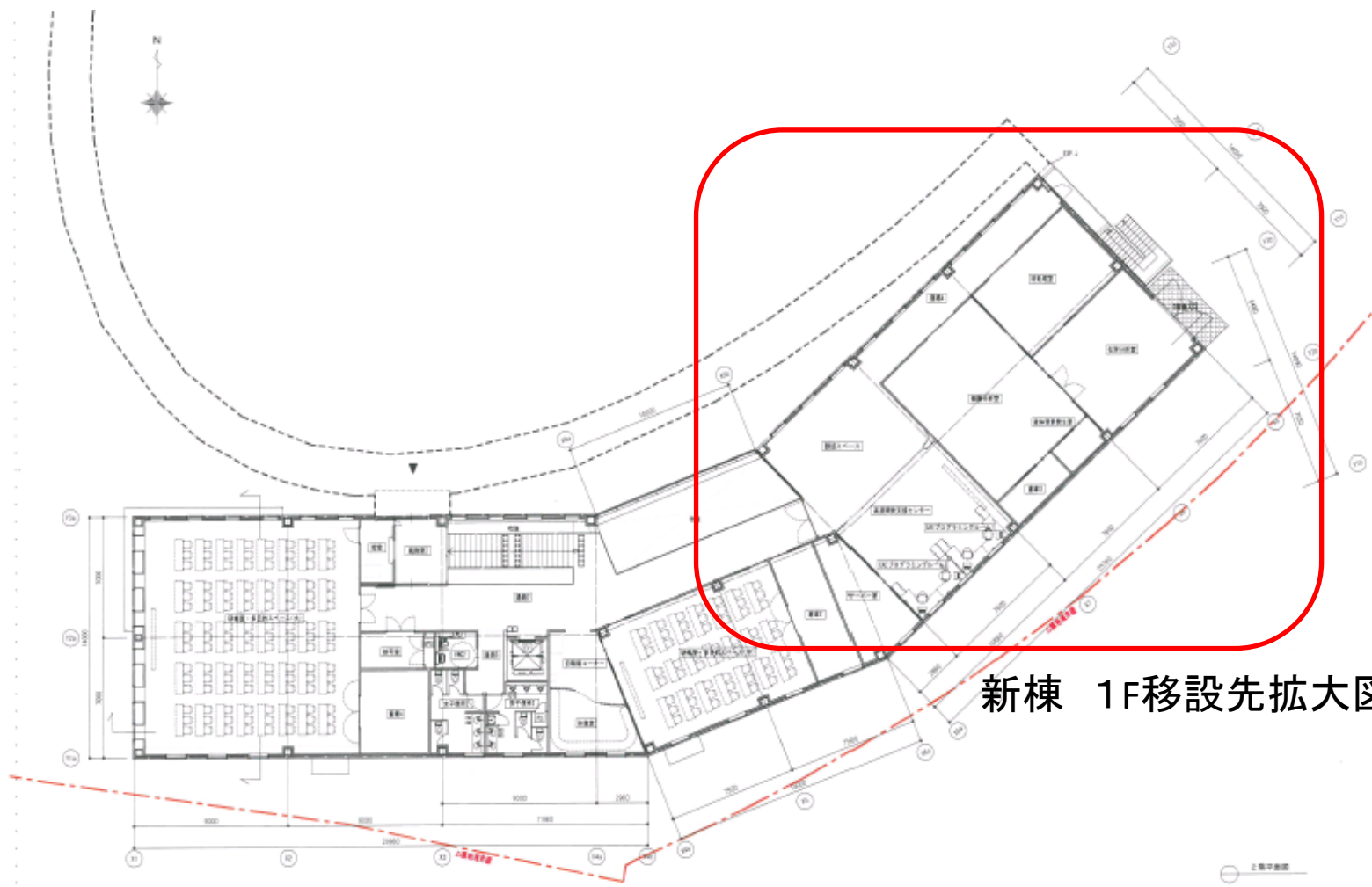
### 事務用品

	物 品 名	移設元所在・サイズ(W・D・H) mm		数量	机上搭載機器名	ランク	備考
	TV会議システム	事務棟2F		1		C	
	演台	事務棟2F		1		C	
	ホワイトボード	事務棟2F		1		C	
J1	ロッカー(金庫)	事務棟1F	900×450×1080	1		C	
J2	水屋	事務棟1F	600×450×1800	1		C	
J3	作業台	事務棟1F	1400×700×700	1		C	
J4	作業台	事務棟1F	1600×800×660	1		C	
J5	会議机	事務棟1F	3200×1200×700	1		C	
J6	作業台	事務棟1F	1800×750×700	1		C	
J7	3連イス	事務棟1F	1600×500×400	1		C	
J8	ホワイトボード	事務棟1F		1		C	
J9	プロッター	事務棟1F		1		C	
J10	TV会議システム	事務棟1F		1		C	
J11	電磁調理器	事務棟1F		1		C	
J12	プリンタ	事務棟1F		1		C	
J13	複合機	事務棟1F		1		C	
J14	FAX	事務棟1F		1		C	
J15	保管庫	事務等1F	900×450×1100	4		C	
J16	保管庫	事務等1F	900×400×750	1		C	
	イス(会議室)	事務棟1F		9		C	

### 廃棄機器リスト

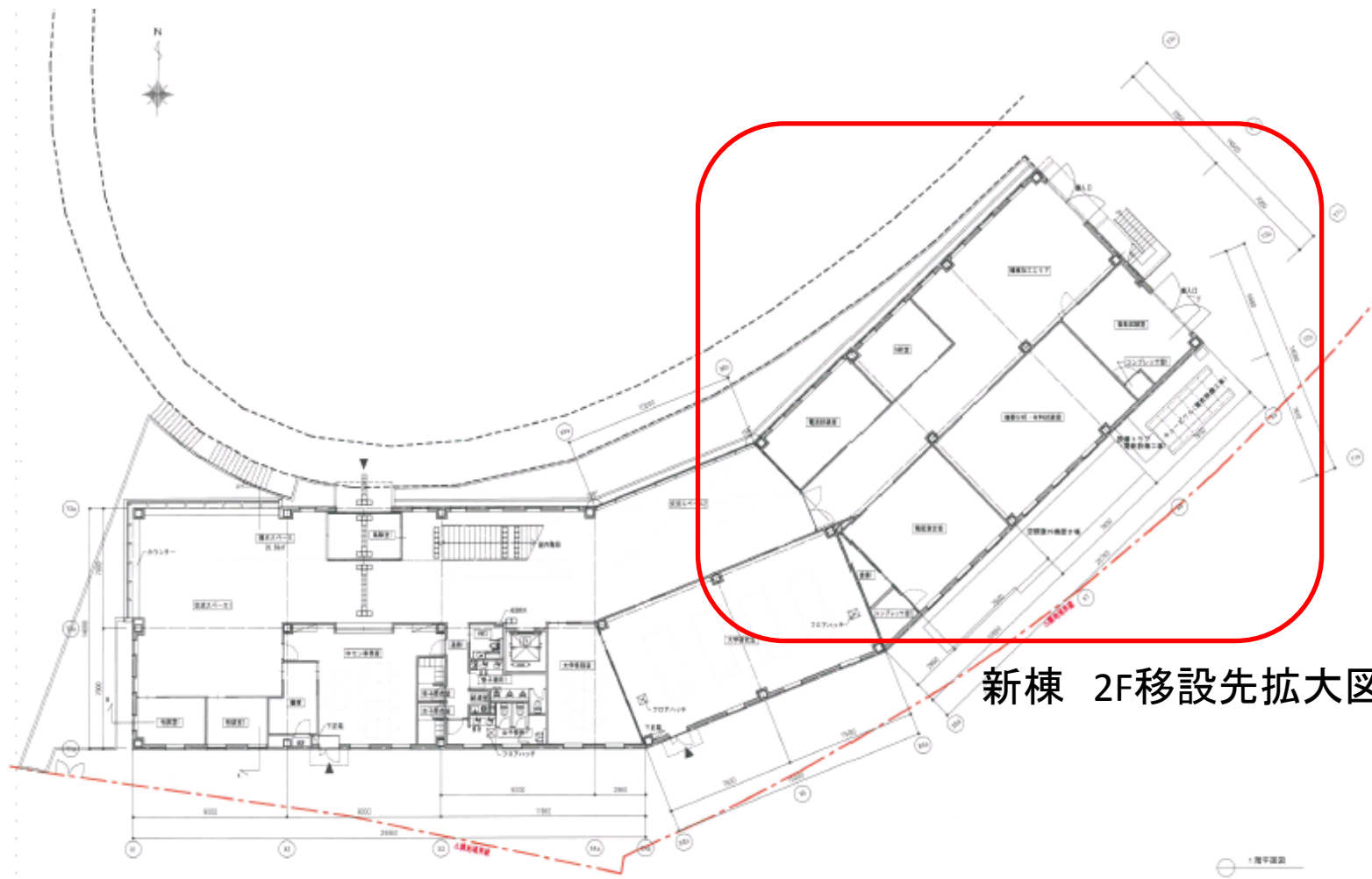
	機 器 名	メーカ名・機種名		機器サイズ(W・D・H) cm	重量	行先	ランク	写真
F-1	蛍光X線分析装置	島津製作所	EDX-900HS (PC,プリンタ含む)	180×110×135	200	廃棄	—	
K-9	超低温フリーザ	解析棟2F SANYO	ULTRALOW	75×90×185	180	廃棄	—	

# 移転先平面図(全体)



新棟 1F移設先拡大図参照

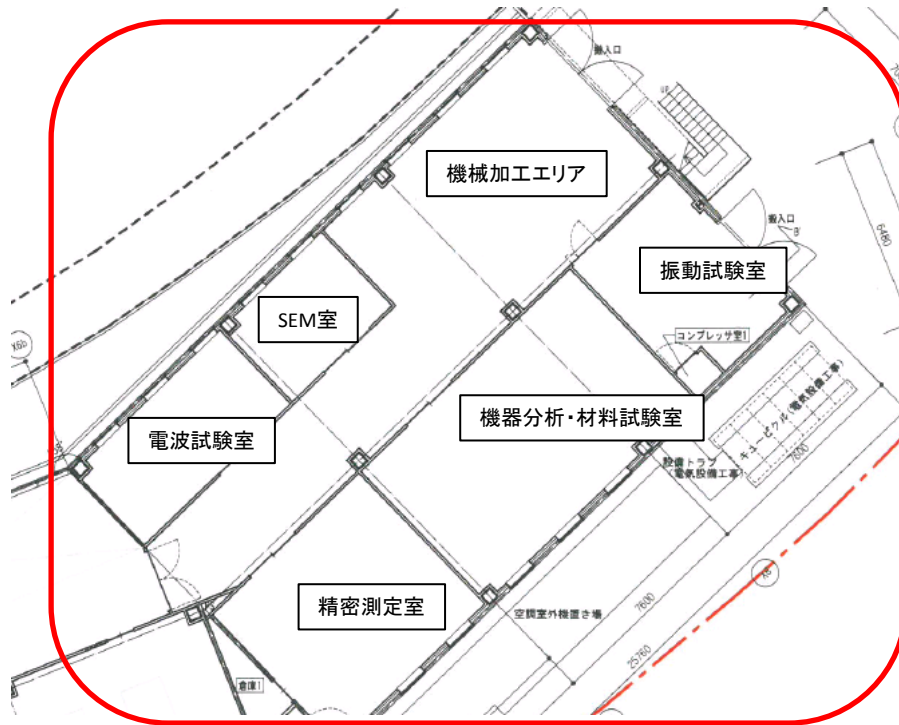
新棟 1F平面図



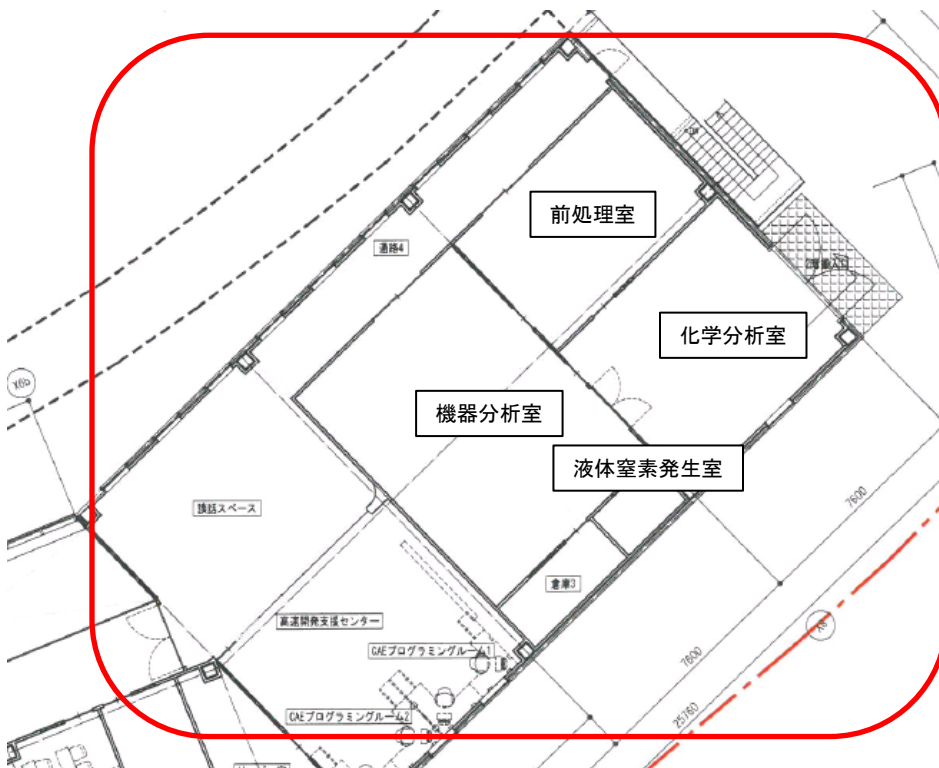
新棟 2F移設先拡大図参照

新棟 2F平面図

# 移転先平面図(拡大)



## 新棟 1F移設先拡大図

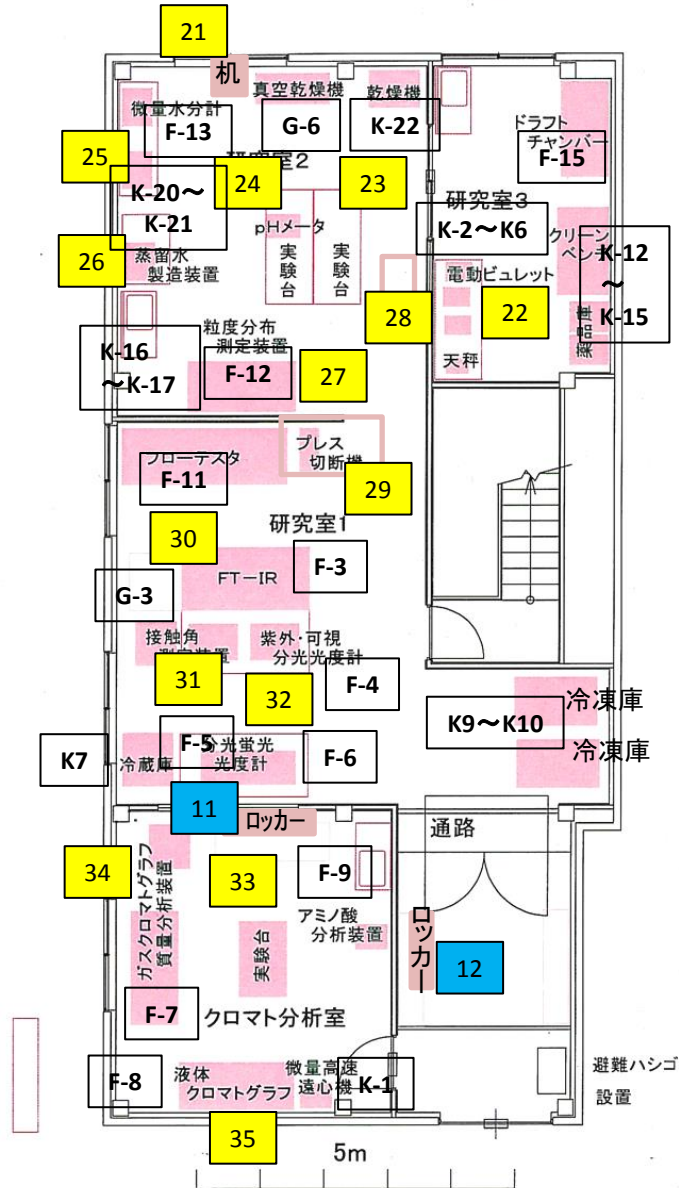


## 新棟 2F移設先拡大図

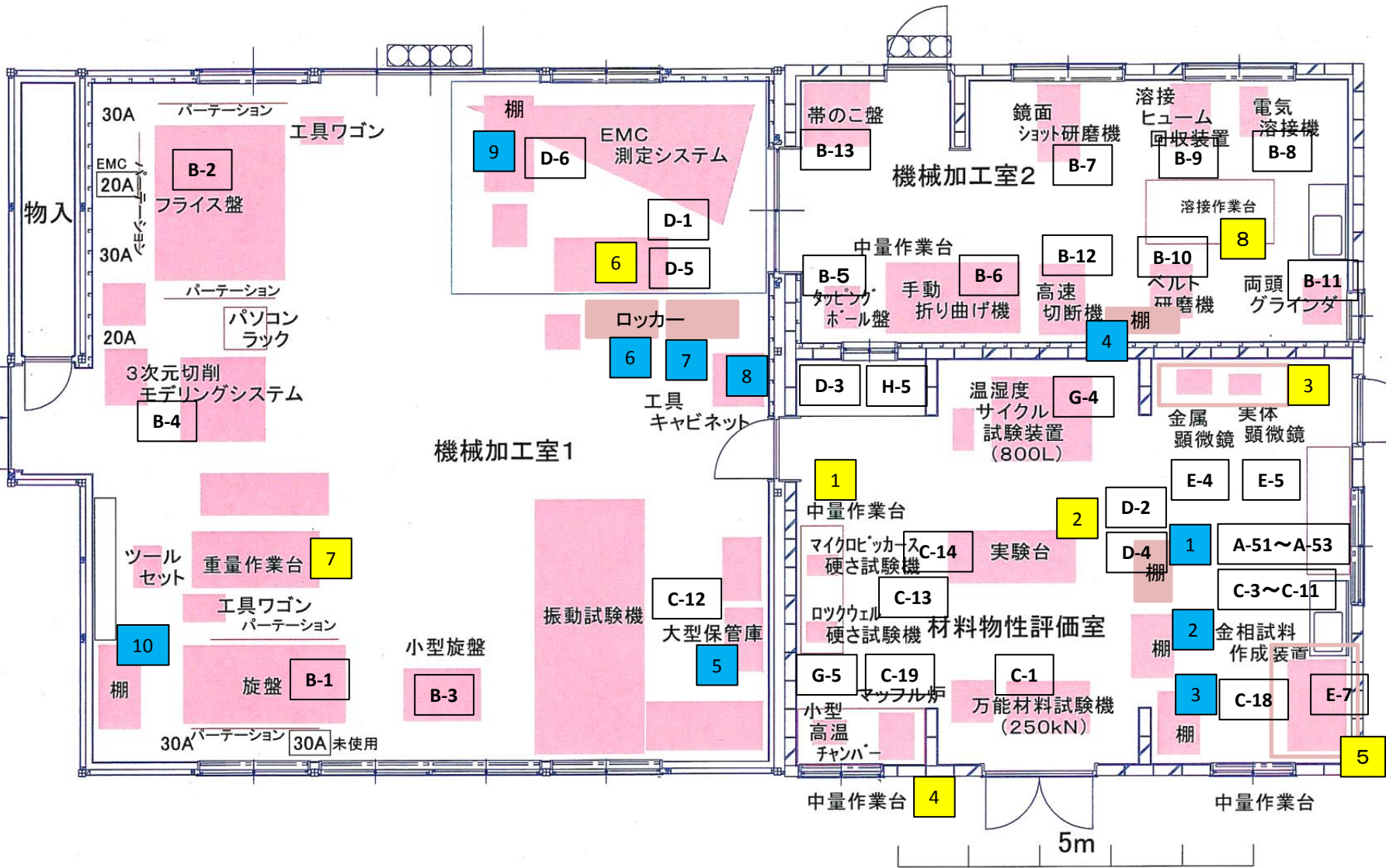
# 研究・解析棟 1F



# 研究・解析棟 2F

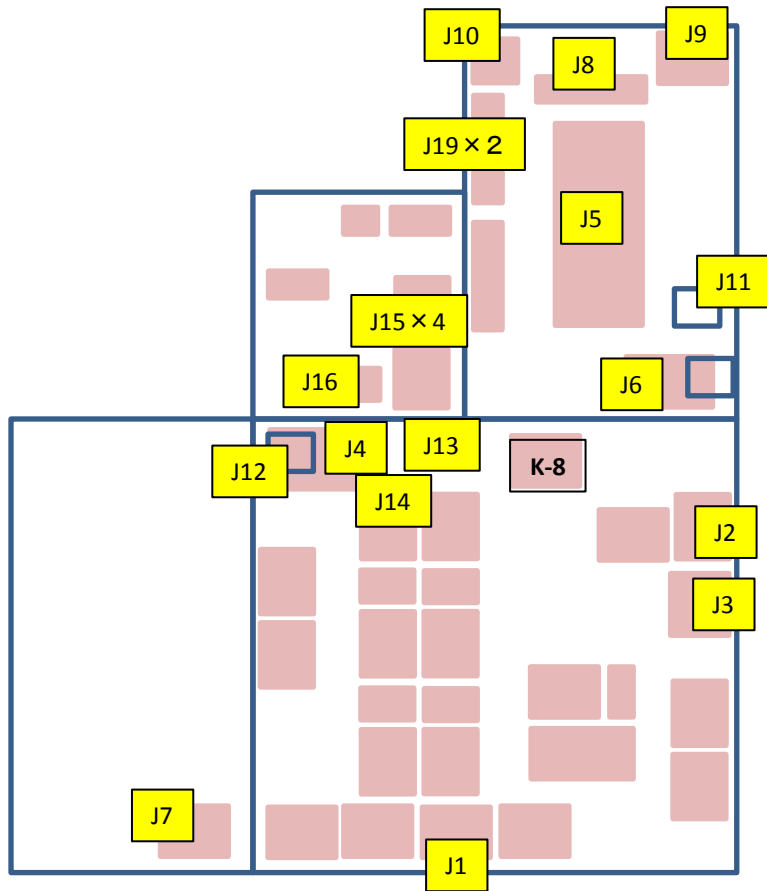






# 事務棟

1F



2F

